

「かぐや」のハイビジョンカメラ撮影大成功！！ おめでとうございます

2007年9月14日に種子島宇宙センターから打ち上げた月周回衛星「かぐや」(SELENE)から、初めて撮影されたハイビジョン動画が地球に送られてきました。このハイビジョンカメラは明星電気が宇宙航空研究開発機構(JAXA)および日本放送協会(NHK)より受注、製作したもので、この距離(地球から11万km)からのハイビジョン動画は世界初のことです。



©JAXA/NHK



明星電気製 ハイビジョンカメラ

「かぐや(SELENE)」から、初めて撮影、送信されたハイビジョン映像 提供: JAXA / NHK



建設技術展示館
千葉県松戸市五香西6-12-1
047-394-6471 (入場無料)

緊急地震速報関連技術では初めて！！

QCAST®シリーズ製品が公的展示場で常時ご覧頂けます

国土交通省関東地方整備局関東技術事務所内(千葉県松戸市)にある、「建設技術展示館(建設おもしろテクノ館)」からQCAST®シリーズ製品が先進技術の認定を受け、10月26日から約1年間、常設展示を行うこととなりました。緊急地震速報関連の技術として、初めてとなります。

QCAST®シリーズ受信装置が自動的にデモンストレーション動作を行い、想定東海地震によって、関東地方の予想震度などを地図上でグラフィカルに表示するほか、2004年10月の中越地震時に緊急地震速報(試験配信)を弊社内で実際に受信した映像を放映しています。

今後導入が進むと思われる、学校関係者や施設管理・建設関係者の来場も多いことから、明星電気では展示・説明などを工夫し、緊急地震速報の活用方法や導入について考えていただく機会を提供する場を目指します。



気象庁を含め、中央官庁が続々とQCAST®を採用

明星電気は国土交通省本省と農林水産省本省から相次いでQCAST®シリーズ製品を受注しました。職員や来庁者の安全を図るため、緊急地震速報が活用されます。

各中央官庁は、今年3月の中央防災会議での総理大臣発言(緊急地震速報の利活用を推進し、方策を検討)により、各分野での活用検討を進めています。

その中で、防災行政の中核官庁である国土交通省本省では緊急地震速報のさらなる活用のためにQCAST®シリーズ製品を採用。警報ユニットを館内の一斉放送に接続し、震度4以上の揺れが推定される場合に自動的に緊急放送が流れる仕組みとなっています。

また、農林水産省本省でも、震度5弱以上の揺れがQCAST警報ユニットによって推定された場合に館内一斉放送が行われ、避難行動を促す緊急アナウンスが自動的に放送されます。いずれも10月1日からの緊急地震速報の一般提供に合わせて開始され、定期的な訓練もテスト放送機能によって実施されています。

今年4月には、気象庁本庁にQCAST警報ユニットが設置されており、具体的な緊急地震速報の活用事例を通じて、各地の行政機関でも利活用の検討がさらに進むとみられます。



国土交通省本省と
警報ユニット設置の様子

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。